

入学試験問題の講評 英語 ②

(マネジメント創造学部 マネジメント創造学科)

●出題のねらいと傾向

テストの主な目的は本学部の英語教育プログラムの内容に対応できるレベルの英文を理解できる能力と表現できる能力を測ることです。

長文読解、英文内容の把握を中心に問題が構成されています。具体的な情報を見つけ出す能力、英文全体の内容、意図するところを読み取り、それに対する自分の考えを英文で表現する能力を測定するところに重点を置いています。

(1) 文章の長さは 600 語から 800 語程度で一定時間内に的確に文章を読み取る力を試します。

(2) 文章の内容は大学で実際に使われるトピックやテーマを取り入れています。今回はアメリカのニュースサイトに掲載された、女性の社会的地位に関する記事から出題されています。

(3) 具体的な情報を内容から読み取ることと必要な答えを文章からを見つけ出す能力を測ります。

2021 年度入試では以下の能力を測定することを目的としています。

設問 1

文章を理解し、20 語以内の英文で因果関係を説明する。

設問 2

文章の中から、質問の答えを見つけ 20 語以内の英文にまとめる。

設問 3、4

単語、熟語の問題。近い意味のものを選択する。高校英語で習得するもので、文章から推測することも可能です。

設問 5

文章全体を理解し、主題について自分の言葉で説明する。(英文 40 語以内)

設問 6

文章全体の主旨を読み取り、それに対する感想(印象や意見)を自分の言葉で現す。(英文 75 語以内)

●解答内容について

受験者の平均点は約 58.2 点(100 点満点)、合格者の平均点は約 69.0 点(100 点満点)でした。単語、熟語に関する問題の正解率は 6 割以上でした。「設問 5」は自分の言葉でまとめる問題でしたが、問題文の英文をそのまま使用する人が少なくありませんでした。「設問 6」の自分の意見を英文で表現する問題は平均得点が低く、この問題が合否を分ける重要なものとなりました。

●アドバイス

英文の速読、内容読解、文の構成理解、自己表現を中心に準備をして下さい。

1. 高校英語の基本的な単語、熟語、構文などはしっかり習熟していることが大切です。できるだけ多くの英文を読むことであらゆる単語、熟語を理解する力がついてきます。

2. まず文章全体をすばやく読み、テーマやトピックの概要や文章の意図を把握します。そして問題をすべて読んでから必要な答えを見つけるためにもう一度今度は注意深く文章を読みます。文全体の主旨や作者の考えを大まかに理解することが大切です。英字新聞や雑誌などの文章を読み練習を重ねましょう。速読のために時間を区切り練習するのも良い方法です。知らない単語は前後の文脈から推測するようにしましょう。TOEFL の試験問題も参考になります。

3. 自分の意見を答える問題は自分の身近な物や過去の経験などと文章の内容を結びつけて考えるとよいでしょう。英語で自分の意見を述べることは難しいですが、繰り返し習慣づけることで慣れていきます。どんなトピックでもいいので、自分の意見を英語で話す練習をしましょう。日本語で考えてから英語にするのではなく、英語で考えられるようにしましょう。英語で話す内容を文書にする練習も効果的です。いろんなことを自分の経験などを通して話せることは大学入学後も多いに役に立ちます。特に入試問題(設問 6)の内容に合致しない模範解答のようなものを自分の意見として記入している例が見られます。そのような場合は減点の対象になりますので、必ず内容に関連した自分の考えた英文で解答するようにしてください。

配 点

1 100 点